

同時資料配布先:

経済産業記者会

エネルギー記者会

学研都市記者クラブ

2021年11月30日

二酸化炭素地中貯留技術研究組合

CCS テクニカルワークショップ 2022

～ 研究開発から実用化への推進 ～
開催について

当技術研究組合は、大規模発生源から分離回収した二酸化炭素（CO₂）を地下深部に貯留する CCS（Carbon dioxide Capture and Storage）に関するワークショップを2022年1月21日（金）に開催いたします。

CCS は、地球温暖化対策の有効な手段として期待されています。当技術研究組合では、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構からの「安全な CCS 実施のための CO₂ 貯留技術の研究開発」に係る委託事業において、CO₂ 地中貯留の実用化に向けた技術開発に取り組んでいます。

CCS の実用化・普及にあたっては、技術面に加えて、事業者が付与するインセンティブなどの制度設計も重要です。そこで、本ワークショップでは、海外の CCS プロジェクトを主導する専門家から、プロジェクトの動向や技術実証の状況について紹介するとともに、政策面から CCS の普及を促すための制度設計の考え方、国内の CCS 実用化にあたっての法的課題について解説いたします。また、当技術研究組合からは、実フィールドにおける光ファイバーセンシング技術の実証試験など、CO₂ 地中貯留技術の実用化への取り組みについてご報告いたします。

1. 開催概要

日時: 2022年1月21日（金） 10:40～16:30（10:00 受付開始）

会場: ベルサール東京日本橋

および web 配信

参加費: 無料

主催: 二酸化炭素地中貯留技術研究組合

組合員: 伊藤忠商事株式会社、伊藤忠石油開発株式会社、応用地質株式会社、
石油資源開発株式会社、大成建設株式会社、電源開発株式会社、
三菱ガス化学株式会社、株式会社 INPEX、JX 石油開発株式会社、
国立研究開発法人産業技術総合研究所、
公益財団法人地球環境産業技術研究機構

共催: 経済産業省、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

言語: 日本語、英語（同時通訳有り）

開催案内 URL: <http://www.rite.or.jp/news/events/2021/11/CCS2022.html>

2. プログラム

モデレーター: 東京大学大学院 工学系研究科エネルギー・資源フロンティアセンター
教授 佐藤光三

(敬称略)

| | 項目 | 演題 | 講演者 |
|-------------|--------|--|---|
| (10:00) | (受付開始) | | |
| 10:40~10:45 | 開会挨拶 | | 二酸化炭素地中貯留技術研究組合 理事長 平松 晋一 |
| 10:45~10:50 | 共催者挨拶 | | 経済産業省 資源エネルギー庁 資源燃料部 石油・天然ガス課 課長 早田 豪 |
| 10:50~10:55 | 共催者挨拶 | | 国立研究開発法人新エネルギー・ 産業技術総合開発機構 環境部長 上原 英司 |
| 10:55~11:00 | 趣旨説明 | | 東京大学 教授 佐藤 光三 |
| 11:00~11:50 | 講演 1 | CCS 普及に関する制度、施策に ついて | Adam Wong Director for Strategic Engagement, Office of Fossil Energy and Carbon Management, United States Department of Energy |
| 11:50~13:10 | 休憩 | | |
| 13:10~14:00 | 講演 2 | Quest CCS プロジェクトについて | Simon O'Brien Quest Storage Manager, Shell Canada Limited |
| 14:00~14:50 | 講演 3 | 国内の CCS 実用化にあたっての 法的課題 | 西村あさひ法律事務所 弁護士 紺野 博靖 |
| 14:50~15:10 | 休憩 | | |
| 15:10~16:10 | 講演 4 | CO ₂ 地中貯留の研究開発から 実用化への取り組み | 二酸化炭素地中貯留技術研究組合 技術部長 薛 自求 |
| 16:10~16:25 | 総括 | | 東京大学 教授 佐藤 光三 |
| 16:25~16:30 | 閉会挨拶 | | 二酸化炭素地中貯留技術研究組合 理事 本庄 孝志 |

3. 参加登録

下記のとおり、(1) オンライン登録、または (2) E-mail にて、お申し込み下さい。

(1) オンライン登録

【開催案内】 <http://www.rite.or.jp/news/events/2021/11/CCS2022.html>

【参加登録】 <http://ccs2022.net/form/>

(2) E-mail でのお申し込み

【宛先】 ccs2022@rite.or.jp

【記入事項】

- ①お名前（漢字）、②お名前（かな）、③会社名（漢字）、④会社名（かな）、⑤部署名、
- ⑥役職名、⑦お電話番号、⑧E-mail アドレス、⑨ご希望の参加方法（web 配信／会場参加）、
- ⑩今後の関連イベント案内の送付（可／不可）

(3) 参加お申し込み締め切り

会場参加を希望される場合: 2022 年 1 月 11 日（火）

web 配信を希望される場合: 2022 年 1 月 14 日（金）

- ※ 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、会場での対面開催と web 配信をあわせたハイブリッド方式にて開催いたします。ご希望の参加形式をお選びください。
- ※ なお新型コロナウイルス感染症対策のため会場の定員数が少なくなっており、会場での聴講希望でお申し込みいただいた方全員のお席を確保できない可能性がございます。
- ※ お席が確保できた方には 1 月中旬までに「会場参加案内」を発信いたします。当日はご面倒ですが、「会場参加案内」メールのプリントアウトをお持ちくださいますようお願い申し上げます。
- ※ ご希望の参加方法が会場参加の場合も、web 参加にご変更が可能です。web 参加の方法を記載したお知らせメールを皆様に発信いたします。
- ※ web による参加をご希望の皆様には、1 月中旬に「招待メール」を発信いたします。
- ※ 取材を希望される報道関係の方におかれましても参加登録をお願いします。やむを得ず当日受付となる場合は、ご本人確認のため名刺をご持参ください。
- ※ ご提供いただいた個人情報は、参加者名簿の作成、イベント案内のために利用させていただくことがあります。
- ※ 講演者、演題、講演時間等は変更になる場合があります。

参加登録に関するお問い合わせ先:

CCS ワークショップ 2022 事務局

TEL: 03-5549-6911 E-mail: ccsws@rite.or.jp

ワークショップの内容に関するお問合せ先:

二酸化炭素地中貯留技術研究組合 技術部 技術研究第一グループ 中西、平井

TEL: 0774-75-2309 E-mail: ccsws@rite.or.jp

本プレス発表に関するお問合せ先:

公益財団法人地球環境産業技術研究機構 企画調査グループ 川口、辰巳

TEL: 0774-75-2301 E-mail: pub_rite@rite.or.jp